

記入例 (1) 鉄筋コンクリート造 4階建て共同住宅 (耐震等級 1)

○建物概要

建設地 東京都港区

規模等

- ・建物高さ 11.94m
- ・階数 地上 4階
- ・延べ面積 3,049.55m²
- ・住戸数 35戸

構造等

- ・鉄筋コンクリート造
- ・X方向 ラーメン構造
- ・Y方向 耐力壁付ラーメン構造
- ・基礎 杭基礎 (既製コンクリート杭)

○構造計算の手法

- ・X方向 保有水平耐力計算 (ルート3)
- ・Y方向 その他 (ルート1)

○性能表示事項

1-1 耐震等級 (倒壊等)	等級 1
1-2 耐震等級 (損傷)	等級 1
1-3 その他 (免震構造)	その他の構造
1-4 耐風等級	等級 2
1-5 耐積雪等級	区域外
3-1 劣化対策等級	等級 3

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称：□ 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（1）（概要）（住棟評価用）

- 1-1 耐震等級（構造躯体の倒壊等防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []
- 1-2 耐震等級（構造躯体の損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []
- 1-3 その他（地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []
- 1-4 耐風等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []
- 1-5 耐積雪等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []

注1. 申請者は [] 部分のみを記入する。
 チェック欄：□は、該当部分のみを■とする。
 2. 申請者記入特記事項・備考欄は、建設評価に伝えるための特記欄
 3. 概要書・計算書、図面番号、関連設計図書欄は、設計評価のための注記欄で、いずれか一つの記入のみで可。
 4. 同一敷地内に複数の棟が存する場合、類似内容であれば本書類は一つとし、違いは記号等を用いて区別する。

(1) 構造設計概要

確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
				確認	備考
構造概要	規模等 ・建物高さ [≒11.9 m] 階数：地上 [4 階] 地下 [階] ・延べ面積 [≒3,049 m ²] ■ 耐震建築物 □ 耐震建築物以外（免震建築物等） 構造等 ・構造種別 [鉄筋コンクリート造] ・構造形式 [Xまたは桁行方向 [A棟：ラーメン構造 B棟：耐力壁付ラーメン構造] Yまたは張間方向 [A棟：耐力壁付ラーメン構造 B棟：ラーメン構造] ・基礎構造 [杭基礎]		構造計算概要書 P.1	□	
構造計算	構造計算の手法 □ 時刻歴応答解析 ■ 保有水平耐力計算……A棟：X方向 B棟：Y方向 □ 限界耐力計算 □ 告示免震計算 □ 許容応力度等計算 ■ その他 [令第82条各号及び令第82条の4に定めるところによる構造計算] 構造計算の考え方 ・構造計算に際し採用したモデル化、解析手法、ルート判定等に関する、設計者の考え方		構造計算概要書 P.2~4	□	
材料仕様 (最大のもの)	コンクリート ・強度 [Fc27] 鉄筋 ・主筋材質 [SD345] 主筋径 [D25] 鉄骨 ・鉄骨材質 [] ボルト材質 [] その他 []		設計図 S-1	□	

(2) 適用対象の確認

確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
				確認	備考
高さ等	■ 31m以下 □ 31m超~45m以下 □ 45m超~60m以下 □ 60m超 ■ 建築基準法第20条第三号イ（ルート1）……A棟：Y方向 B棟：X方向		構造計算概要書 P.1~4	□	
構造認定等 注) 構造②のシートについて ・右の項のいずれかに該当する場合には、構造②-A を使用し、認定書や確認済証等を添付する ・右の項のいずれにも該当しない場合 保有耐力許容応力度計算の場合：構造②-B1~B3 限界耐力計算の場合：構造②-C1~C3 告示免震計算の場合：構造②-D1~D5 を使用する。	□ 建築基準法第20条第一号（超高層建築物の構造方法） □ 認定書 □ 性能評価書 □ 評価報告書 □ 建築基準法第20条第二号ロ、同第三号ロ、同第四号ロ（特殊の構造方法） □ 認定書 □ 性能評価書 □ 評価報告書 □ [] □ 評定書 □ 評価報告書 □ 品確法第58条（耐震等級、耐風等級、耐積雪等級に関する特別評価方法認定） □ 特別評価方法認定書 □ 試験結果証明書 ■ 建築基準法に基づく、耐震等級1の場合又は告示免震計算による場合 ■ 確認済証			□	
材料認定等 該当する認定書などを添付する	□ 建築基準法第37条第2号（建築材料認定） □ コンクリート □ 認定書 □ 性能評価書 □ 評価報告書 □ その他 [] □ 認定書 □ 性能評価書 □ 評価報告書			□	

設計内容説明書（兼自己評価書）

案件略称： 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（2）（建築確認済みで等級1などの場合）

（3）等級の確認（建築確認済みで等級1などの場合）

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄		申請者記入 特記事項 ・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
						確認	備考
1-1 耐震等級 (構造躯体の倒壊等防止) <input type="checkbox"/> 評価対象外（免震建築物）	<input type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input checked="" type="checkbox"/> 等級1	適用倍率	<input type="checkbox"/> 倍率 1.5 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.25 以上 <input checked="" type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上		構造計算概要書 P.8	<input type="checkbox"/>	
1-2 耐震等級 (構造躯体の損傷防止) <input type="checkbox"/> 評価対象外（免震建築物）	<input type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input checked="" type="checkbox"/> 等級1	適用倍率	<input type="checkbox"/> 倍率 1.5 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.25 以上 <input checked="" type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上		構造計算概要書 P.8	<input type="checkbox"/>	
1-3 その他 (地震に対する構造躯体の倒壊等防止 及び損傷防止)	<input type="checkbox"/> 免震建築物 <input checked="" type="checkbox"/> その他	免震建築物の場合 の告示	<input type="checkbox"/> 平成12年建設省告示第2009号第1第3号 <input type="checkbox"/> 一（四号建築物） <input type="checkbox"/> 二（建基法20条第二号又は三号に掲げる建築物） <input type="checkbox"/> 三（時刻暦応答解析を行い大臣認定取得） <input type="checkbox"/> その他[]		構造計算概要書 P.1	<input type="checkbox"/>	
		維持管理	<input type="checkbox"/> 維持管理計画 <input type="checkbox"/> 敷地管理計画				
1-4 耐風等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	<input checked="" type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1	適用倍率	<input checked="" type="checkbox"/> 倍率 1.2 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上		加計算書 P.1	<input type="checkbox"/>	
1-5 耐積雪等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	<input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1 <input checked="" type="checkbox"/> 区域外	適用倍率	<input type="checkbox"/> 倍率 1.2 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上 <input checked="" type="checkbox"/> 多雪区域外		構造計算概要書 P.8	<input type="checkbox"/>	

風荷重を1.2倍して計算
(風荷重: ルート3以外は極めて希に発生する暴風の力)

多雪区域のみに適用

注) 「1-2耐震等級」「1-4耐風等級」「1-5耐積雪等級」の評価項目を選択しない場合は、申請者記入特記事項欄に「選択無し」と記入願います。

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称： 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（3）（地盤・基礎）

1-6 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法 評価方法 評価方法基準による その他 []

1-7 基礎の構造方法及び形式等 評価方法 評価方法基準による その他 []

(6)(7) 基礎の構造方法及び形式等 / 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法

性能表示事項		設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入 特記事項 備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
					確認	備考
直接基礎	構造方法	<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他 []			<input type="checkbox"/>	
	形式	<input type="checkbox"/> 独立基礎				
		<input type="checkbox"/> 布基礎				
		<input type="checkbox"/> ベタ基礎 <input type="checkbox"/> その他 []				
地盤の許容応力度		[] KN/m ²				
杭状改良地盤基礎	杭状改良地盤の許容支持力	[] KN/m ²			<input type="checkbox"/>	
	杭状改良地盤の許容支持力	[] KN/本				
	地盤改良方法	[]				
杭基礎	杭種	支持方法 [支持層はGL-20m以深の砂礫層] 支持層を記入			<input type="checkbox"/>	
		杭種 [支持杭(既製杭)]				
		工法 [プレポーリング拡大根固め工法]				
	杭径(最小~最大) 場所打杭、深礎は拡底径~拡頭径も表示 拡底径は設計径を表示	最小径 [40] cm ~ 最大径 [50] cm				
		最小拡頭径 [] cm ~ 最大拡頭径 [] cm 最小拡底径 [] cm ~ 最大拡底径 [] cm				
	杭長(最小~最大) 小数点以下切捨て	最小長 [22] m 最大長 [31] m	既製杭は、拡頭・拡底径は記入しない			
杭の許容支持力(最小~最大)	最小 [1575] KN/本 最大 [2433] KN/本					
設定方法 (設定の根拠となった地盤調査方法、地盤改良の方法等)	<input checked="" type="checkbox"/> 標準貫入試験 <input type="checkbox"/> 平板載荷試験 <input checked="" type="checkbox"/> 室内土質試験 <input type="checkbox"/> PS検層 <input type="checkbox"/> 孔内水平載荷試験				<input type="checkbox"/>	
		2020年4月以降は「PS検層」、「孔内水平載荷試験」に■を記入しないで下さい				
		設計評価以降に実施予定の平板載荷試験は対象外				
		既製杭で、上杭・下杭で径が異なる場合などは、最も長い部分の軸部の径を記入する(節杭は節径ではなく軸径を記入)				
		1種類の場合は最小のみ記入				
		追加記入です				

設計内容説明書 (兼 自己評価書)

案件略称: 虎ノ門マンション

3. 劣化の軽減に関すること (1) (住棟評価用)

3-1 劣化対策等級 (構造躯体等)

評価方法: 評価方法基準による その他 []

(1) 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 評価関連図書	評価者記入欄			
					確認	備考		
3-1 劣化対策等級 (構造躯体等)	<input checked="" type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1	<input checked="" type="checkbox"/> ①項~⑤項の全ての項目に適合 <input type="checkbox"/> ①項~⑤項の全ての項目に適合 <input type="checkbox"/> ⑤項のみに適合			<input type="checkbox"/>			
①.セメントの種類		<input checked="" type="checkbox"/> JISR5210 ポルトランドセメント <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 中庸熱 <input type="checkbox"/> 低熱 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> JISR5213 フライアッシュセメント: 混合物を除いた部分を、セメントの重量として用いる <input type="checkbox"/> JISR5211 高炉セメント: 混合物の10分の3を除いた部分を、セメントの重量として用いる		設計図 S-1	<input type="checkbox"/>			
②.水セメント比と かぶり厚さ		コンクリート		普通	軽量	普通	軽量	
		水セメント比 W/C(%)		等級3	<input checked="" type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> 45 <input type="checkbox"/> 55 <input type="checkbox"/> 50	等級2	<input type="checkbox"/> 55 <input type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> 60 <input type="checkbox"/> 55	設計図 S-1
		部位		最小かぶり厚さ (cm)				設計図 S-3
		直接土に接しない部分のかぶり厚さ	耐力壁以外の壁又は床	屋内	2	3		
				屋外	3 (2)	4 (3)		
		直接土に接する部分のかぶり厚さ	耐力壁、柱、はり又は壁ばり	屋内	3	4		
屋外	4 (3)			5 (4)				
直接土に接する部分のかぶり厚さ		壁、柱、床、はり、基礎ばり又は布基礎の立ち上り部分	4	5				
		基礎 (布基礎の立ち上り部分を除く。)	6	7				
		中庸熱・低熱ポルトランドセメント	適用可	適用外				
		() 内の数値は有効な仕上のある場合						
		<input type="checkbox"/> 水セメント比が部位により異なる場合、部位とW/Cを明示 []						
		<input checked="" type="checkbox"/> 設計かぶり厚さは、最小かぶり厚さに施工誤差 (原則 1 cm) を考慮して設定						
		<input checked="" type="checkbox"/> 部材の断面算定にあたり、設計かぶり厚さを考慮している。						
		電算P.92~112						
③.コンクリートの品質等	<input checked="" type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1	<input checked="" type="checkbox"/> JIS規格コンクリート		大梁については、X・Yにおける主筋の上下関係が設計図で示され、それに基づいた断面算定がなされている必要がある		設計図 S-3		
		<input type="checkbox"/> コンクリート強度が33N/mm ² 未満の場合 スラブが18cm以下						
		<input type="checkbox"/> コンクリート強度が33N/mm ² 以上の場合 スラブが21cm以下						
		<input type="checkbox"/> スラブが21cmを超える場合は大臣認定コンクリート使用						
		<input checked="" type="checkbox"/> 単位水量が185Kg/m ³ 以下						
		<input type="checkbox"/> 空気量が4%~6% (日最低気温の平滑平年値の年間極値が0℃を下回る地域)						
		<input type="checkbox"/> コクリート中含水率を高くしない措置その他有効な措置 []						
		<input type="checkbox"/> 認定コンクリート ・設計基準強度 ・単位水量 ・空気量 ・スラブ あるいはスラブ70-						
④.施工計画		<input type="checkbox"/> 認定コンクリートにおいて、等級3、等級2の場合				設計図 S-3		
		<input type="checkbox"/> 適切な施工計画を定める指定						
		<input type="checkbox"/> 適切な品質管理計画を定める指定						
		<input type="checkbox"/> 不具合の確認と対処方法を定める指定						
		<input checked="" type="checkbox"/> 密実に充填するための打込み及び締め固めの方法の指定		JASS5に準拠する場合には、対応する節番号を図面に記載する				
		・使用する締め固め機器の種類と使用方法						
		・JASS5とは別の指定方法 []						
		<input checked="" type="checkbox"/> 打ち継ぎ部の処理方法の指定						
		・打ち継ぎ部の位置 ・打ち継ぎ部の形状 ・コンクリートの打ち継ぎ面の処置						
		・JASS5とは別の指定方法 []						
		<input checked="" type="checkbox"/> 養生方法の指定						
		・湿潤養生の方法 ・養生期間 ・養生温度の配慮						
		・JASS5とは別の指定方法 []						

有効な仕上のある場合とは、「外壁の屋外に面する部位に、タイル張り、モルタル塗り、外断熱工法による仕上、その他これらと同等以上の性能を有する処理が施される場合」である
これより、屋外のスラブ、梁の水平面には適用されない

大梁については、X・Yにおける主筋の上下関係が設計図で示され、それに基づいた断面算定がなされている必要がある

コンクリート強度は JASS5 (2009) の Fm

JASS5に準拠する場合には、対応する節番号を図面に記載する

3. 劣化の軽減に関すること (2) 案件略称: 虎ノ門マンション

(1) 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造 続き

性能表示事項 自己評価 等級	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入 特記事項 ・備考欄	概要書・計算書 図面番号 評価関連図書	評価者記入欄	
				確認	備考
⑤.その他の構造部材等	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 構造躯体等が令3章耐久性等関係規定のうちの下記の規定に適合 <ul style="list-style-type: none"> ・構造部材（令第37条） ・コンクリートの材料（令第72条1,3号） ・コンクリートの強度（令第74条3項） ・コンクリートの養生（令第75条） ・鉄骨のかぶり厚さ（令第79条の3） <input type="checkbox"/> 特殊な工法によるものは、建設大臣が定めた技術的基準のうちの劣化規定に従う <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 壁式鉄筋コンクリート造：平13国交告第1026号に適合 <input type="checkbox"/> プレストレストコンクリート造：昭58建告第1320号に適合 <input type="checkbox"/> 壁式ラーメン鉄筋コンクリート造：平13国交告第1025号に適合 <input type="checkbox"/> その他 [] 			<input type="checkbox"/>	

(2) 鉄骨造

性能表示事項 自己評価 等級	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入 特記事項 ・備考欄	概要書・計算書 図面番号 評価関連図書	評価者記入欄	
				確認	備考
3-1 劣化対策等級 (構造躯体等)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ①項～④項の全ての項目に適合、但し*の項目は除外 <input type="checkbox"/> ①項～④項の全ての項目に適合、但し**の項目は除外 <input type="checkbox"/> ④項のみに適合 			<input type="checkbox"/>	
①.構造躯体	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 柱、梁、筋かいの防錆措置は評価方法基準 3-1(3) <input type="checkbox"/> ①a の基準に適合** <input type="checkbox"/> 柱、梁、筋かいの防錆措置は評価方法基準 3-1(3) <input type="checkbox"/> ②a の基準に適合* <input type="checkbox"/> 柱、梁、筋かい以外の部分は鉛系さび止めペイント塗り回数2以上、又は同等の防錆措置 ただし、等級3の場合は厚さ12mm（等級2の場合は厚さ9mm）以上の鋼材については、この限りでない 			<input type="checkbox"/>	
②.床下	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 床下は評価方法基準 3-1(3)イ①f の基準に適合 			<input type="checkbox"/>	
③.小屋裏	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 小屋裏は評価方法基準 3-1(3)イ①g の基準に適合 			<input type="checkbox"/>	
④.構造部材等	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 構造躯体等が構造部材の耐久（令第37条）に適合 <input type="checkbox"/> 構造方法に関する補足：特殊な工法によるものは、国土交通大臣が定めた技術的基準のうちの劣化規定に従う <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> [] 			<input type="checkbox"/>	

記入例 (2) 鉄筋コンクリート造 7階建て共同住宅 (耐震等級 2)

○建物概要

建設地 北海道札幌市

規模等

- ・建物高さ 21.37m
- ・階数 地上 7階
- ・延べ面積 2,809.92m²
- ・住戸数 31戸

構造等

- ・鉄筋コンクリート造
- ・X方向 ラーメン構造
- ・Y方向 耐力壁付ラーメン構造
- ・基礎 直接基礎 (ベタ基礎) 一部杭状改良地盤

○構造計算の手法

- ・X方向 保有水平耐力計算 (ルート3)
- ・Y方向 保有水平耐力計算 (ルート3)

○性能表示事項

1-1 耐震等級 (倒壊等)	等級 2
1-2 耐震等級 (損傷)	等級2
1-3 その他 (免震構造)	その他の構造
1-4 耐風等級	等級 2
1-5 耐積雪等級	等級 2
3-1 劣化対策等級	等級 3

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称：○ 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（1）（概要）（住棟評価用）

- 1-1 耐震等級（構造躯体の倒壊等防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []
- 1-2 耐震等級（構造躯体の損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []
- 1-3 その他（地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []
- 1-4 耐風等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []
- 1-5 耐積雪等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []

- 注1. 申請者は [] 部分のみを記入する。
 チェック欄：□は、該当部分のみを■とする。
 2. 申請者記入特記事項・備考欄は、建設評価に伝えるための特記欄
 3. 概要書・計算書、図面番号、関連設計図書欄は、設計評価のための注記欄で、いずれか一つの記入のみで可。
 4. 同一敷地内に複数の棟が存する場合、類似内容であれば本書類は一つとし、違いは記号等を用いて区別する。

(1) 構造設計概要

確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
				確認	備考
構造概要	規模等	<ul style="list-style-type: none"> ・建物高さ [≒21 m] 階数：地上 [7 階] 地下 [階] ・延べ面積 [≒2,809 m²] 	構造計算概要書 P.1	□	
	耐震、免震等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 耐震建築物 □ 耐震建築物以外（免震建築物等） 			
	構造等	<ul style="list-style-type: none"> ・構造種別 [鉄筋コンクリート造] ・構造形式 [Xまたは桁行方向 [純ラーメン構造]] [Yまたは張間方向 [耐力壁付ラーメン構造]] 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎構造 [直接基礎] 			
構造計算	構造計算の手法	<ul style="list-style-type: none"> □ 時刻歴応答解析 ■ 保有水平耐力計算 □ 限界耐力計算 □ 告示免震計算 □ 許容応力度等計算 □ その他 [令第82条各号及び令第82条の4に定めるところによる構造計算] 	構造計算概要書 P.2~4	□	
	構造計算の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・構造計算に際し採用したモデル化、解析手法、ルート判定等に関する、設計者の考え方 			
材料仕様 (最大のもの)	コンクリート	<ul style="list-style-type: none"> ・強度 [Fc30] 	設計図 S-1	□	
	鉄筋	<ul style="list-style-type: none"> ・主筋材質 [SD390] 主筋径 [D32] 			
	鉄骨	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄骨材質 [] ボルト材質 [] 			
	その他	<ul style="list-style-type: none"> [高強度せん断補強筋 KSS785] 			

≒を付けて数値を丸めてよい

(2) 適用対象の確認

確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
				確認	備考
高さ等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 31m以下 □ 31m超~45m以下 □ 45m超~60m以下 □ 60m超 □ 建築基準法第20条第三号イ（ルート1） 		構造計算概要書 P.1	□	
構造認定等	<ul style="list-style-type: none"> □ 建築基準法第20条第一号（超高層建築物の構造方法） □ 認定書 □ 性能評価書 □ 評価報告書 □ 建築基準法第20条第二号ロ、同第三号ロ、同第四号ロ（特殊の構造方法） □ 認定書 □ 性能評価書 □ 評価報告書 □ [] □ 評定書 □ 評価報告書 □ 品確法第58条（耐震等級、耐風等級、耐積雪等級に関する特別評価方法認定） □ 特別評価方法認定書 □ 試験結果証明書 □ 建築基準法に基づく、耐震等級1の場合又は告示免震計算による場合 □ 確認済証 			□	
材料認定等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 建築基準法第37条第2号（建築材料認定） □ コンクリート □ 認定書 □ 性能評価書 □ 評価報告書 ■ その他 [高強度せん断補強筋 KSS785] ■ 認定書 □ 性能評価書 □ 評価報告書 			□	

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称：○ 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（2）（保有水平耐力又は許容応力度計算）

（3）等級の確認（保有水平耐力又は許容応力度計算）

性能表示事項	自己評価等級	確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入 特記事項 備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
						確認	備考
1-1 耐震等級 (構造躯体の 倒壊等防止) □ 評価対象外（免震建築物）	□ 等級3 ■ 等級2 □ 等級1	適用倍率	□ 倍率1.5 以上 ■ 倍率1.25以上 □ 倍率1.0 以上		LP出力 P137	□	
		①.各構造種別共通 計算ルート3 (保有水平耐力) (必要保有水平耐力)	■ 保有水平耐力の確認 ・地震力もしくは必要保有水平耐力に適用倍率を乗じた上で、 全層について保有水平耐力 $Q_u \geq$ 必要保有水平耐力 Q_{un} を満足 ・全層についての Q_u が材料強度に応じて適切に設定されている ・全層について Q_{un} が適切に計算されている		LP出力 P137		
		②.鉄筋コンクリート造 計算ルート2-1 計算ルート2-2 計算ルート2-3 計算ルート1	壁量、柱量の確保の確認と応力度の確認 □ 強度型(1) $\sum 2.5\alpha A_w + \sum 7\alpha A_c \geq 0.75ZWA_i \times$ 適用倍率 □ 強度型(2) $\sum 1.8\alpha A_w + \sum 1.8\alpha A_c \geq ZWA_i \times$ 適用倍率 □ 靱性型：等級2以上への適合判定には利用しない □ 強度型 $\sum 2.5\alpha A_w + \sum 7\alpha A_c \geq ZWA_i \times$ 適用倍率 □ 地震力に適用倍率を乗じた上で全ての部材の存在応力度 \leq 許容応力度				
		③.鉄骨鉄筋コンクリート造 計算ルート2-1 計算ルート2-2 計算ルート2-3 計算ルート1	壁量、柱量の確保の確認と応力度の確認 □ 強度型(1) $\sum 2.5\alpha A_w + \sum 1.0\alpha A_c \geq 0.75ZWA_i \times$ 適用倍率 □ 強度型(2) $\sum 2.0\alpha A_w + \sum 2.0\alpha A_c \geq ZWA_i \times$ 適用倍率 □ 靱性型：等級2以上への適合判定には利用しない □ 強度型 $\sum 2.5\alpha A_w + \sum 1.0\alpha A_c \geq ZWA_i \times$ 適用倍率 □ 地震力に適用倍率を乗じた上で全ての部材の存在応力度 \leq 許容応力度				
		④.鉄骨造 計算ルート2 計算ルート1	□ 適用倍率と β' による応力割増の上で全ての部材の存在応力度 \leq 許容応力度 ・柱及び梁の仕口部、継手部を保有耐力接合としている ・梁は保有耐力横補剛としている ・筋かいの端部・接合部の破断防止が適切に設定されている ・柱脚部の破断防止が適切に設定されている □ 下記の応力割増しの上で全ての部材の存在応力度 \leq 許容応力度 ・標準せん断力係数 C_0 が 0.4 x 適用倍率以上、 また、水平力を負担する筋かいを有する階にあっては 0.5 x 適用倍率以上 ・2等級以上の場合、偏心率、靱性率の値がそれぞれ0.15以下、0.6以上になっている。 ・筋かいの端部・接合部の破断防止が適切に設定されている				
1-2 耐震等級 (構造躯体の 損傷防止) (地上、地下および 基礎、杭も評価対象) □ 評価対象外（免震建築物）	□ 等級3 ■ 等級2 □ 等級1	適用倍率	□ 倍率1.5 以上 ■ 倍率1.25以上 □ 倍率1.0 以上		一貫出力 P32	□	
		構造の安定の確認	■ 地震力もしくは存在応力度に適用倍率を乗じた上で、 全ての部材(主要構造部として杭・地盤を含む)の存在応力度 \leq 許容応力度		一貫出力 P32 GP出力 P34		
		層間変形角	■ 地震力に適用倍率を乗じた上で各階層間変形角 $\leq 1/200$ または $\leq 1/[\quad]$ (120までの間で緩和値を規定)		一貫出力 P95		
		剛性率 R_s ：ルート1は計算不要 但し、鉄骨造で等級2以上は必要	■ 全層・全方向について剛性率 $R_s \geq 0.6$ 以上となっている 但し、ルート3は $R_s < 0.6$ でも可		一貫出力 P95		
		偏心率 R_e ：ルート1は計算不要 但し、鉄骨造で等級2以上は必要	■ 全層・全方向について偏心率 $R_e \leq 0.15$ となっている 但し、ルート3は $R_e > 0.15$ でも可		一貫出力 P96		

(3) 等級の確認（保有水平耐力又は許容応力度計算）続き

性能表示事項 自己評価等級	確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
					確認	備考
1-3 その他 (地震に対する 構造躯体の倒壊等 防止及び損傷防止) <input type="checkbox"/> 免震建築物 <input checked="" type="checkbox"/> その他					<input type="checkbox"/>	
1-4 耐風等級 (構造躯体の倒壊等 防止及び損傷防止) <input checked="" type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1	適用倍率等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 倍率 1.2以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.0以上 <input type="checkbox"/> 風圧力もしくは存在応力度に適用倍率を乗じた上で、全ての部材の存在応力度 ≤ 許容応力度 		住宅性能評価検討書 I-4	<input type="checkbox"/>	
1-5 耐積雪等級 (構造躯体の倒壊等 防止及び損傷防止) <input checked="" type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1 <input type="checkbox"/> 区域外	適用倍率等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 倍率 1.2以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.0以上 <input type="checkbox"/> 多雪区域外 <input type="checkbox"/> 積雪荷重もしくは存在応力度に適用倍率を乗じた上で、全ての部材の存在応力度 ≤ 許容応力度 		住宅性能評価検討書 I-5	<input type="checkbox"/>	

耐風等級2の場合は風荷重を1.2倍としてチェック

長期(G+P+0.75S)及び短期(G+P+S)のSに対して、適用倍率1.2を考慮

注) 「1-2耐震等級」「1-4耐風等級」「1-5耐積雪等級」の評価項目を選択しない場合は、申請者記入特記事項欄に「選択無し」と記入願います。

(4) その他の確認事項（保有水平耐力又は許容応力度計算）

確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
				確認	備考
積雪時を除く常時荷重に関する許容応力度計算	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全ての部材の存在応力度 ≤ 許容応力度 		一貫出力 P98 GP出力 P34	<input type="checkbox"/>	
仕様規定	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法令の仕様規定に適合している。 第2節 構造部材等 <ul style="list-style-type: none"> ・構造部材の耐久（令第37条）・基礎（令第38条） 第6節 鉄筋コンクリート造 <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートの材料（令第72条）・強度（令第74条）・養生（令第75条） ・鉄筋の継手及び定着（令第73条）・かぶり厚さ（令第79条） ・柱（令第77条）・床版（令第77条の2）・はり（令第78条）の構造 ・耐力壁（令第78条の2）・型わく及び支柱の除去（令第76条） 第6節2 鉄骨鉄筋コンクリート造 <ul style="list-style-type: none"> ・鉄骨のかぶり厚さ（令第79条の3） 第5節 鉄骨造 <ul style="list-style-type: none"> ・材料（令第64条）・圧縮材の有効細長比（令第65条） ・柱の脚部（令第66条）・接合（令第67条） ・高力ボルト及びボルト（令第68条）・斜材・壁等の配置（令第69条） 		S-2~8	<input type="checkbox"/>	
荷重及び外力	<ul style="list-style-type: none"> ■ 荷重及び外力の種類と大きさ及び組合せが法令に適合している。 ・固定荷重（令第84条） ・積雪荷重（令第86条） ・積載荷重（令第85条） ・風圧力（令第87条） ・地震力（令第88条） 			<input type="checkbox"/>	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 長期及び短期（令第82条） <input type="checkbox"/> 極めて稀に発生する大規模な暴風および積雪（令第82条の5） 			<input type="checkbox"/>	
許容応力度及び材料強度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 許容応力度及び材料強度が法令に適合している。 許容応力度 <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート（令第91条） ・溶接（令第92条） ・鉄筋（令第90条第2号） ・高力ボルト接合（令第92条の2） ・鋼材（令第90条第1号） ・地盤及び基礎杭（令第93条） 材料強度 <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート（令第97条） ・鋼材（令第96条第1号） ・鉄筋（令第96条第2号） ・溶接（令第98条） 			<input type="checkbox"/>	

(4) その他の確認事項（保有水平耐力又は許容応力度計算）続き

確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入 特記事項 備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
				確認	備考
計算と設計図の整合	<ul style="list-style-type: none"> ■ 計算の内容を設計図に反映している。 • 構造要素の配置、構造部材の基準強度、接合方法など 			<input type="checkbox"/>	
認定構造方法等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 認定書等で確認するか、設計図に明示している。 • 構造方法、建築材料など 		S-2	<input type="checkbox"/>	
構造計算ソフト	<ul style="list-style-type: none"> □ 認定ソフトを使用している。(認定書要添付) • ワーニングメッセージの説明・電算チェックリストの添付・記号の説明 		最終頁 P6-1	<input type="checkbox"/>	

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称：○ 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（3）（地盤・基礎）

1-6 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []

1-7 基礎の構造方法及び形式等 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []

(6)(7) 基礎の構造方法及び形式等 / 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法

性能表示事項		設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入 特記事項 備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
					確認	備考
直接基礎	構造方法	■ 鉄筋コンクリート造 □ その他 []			□	
	形式	□ 独立基礎				
		□ 布基礎				
		■ ベタ基礎 □ その他 []				
地盤の許容応力度	[30] KN/m ²					
杭状改良地盤基礎	杭状改良地盤の許容支持力度	[30] KN/m ²			□	
	杭状改良地盤の許容支持力	[] KN/本				
	地盤改良方法	[深層混合処理工法]				
杭基礎	杭種	支持方法 []			□	
		杭種 []				
		工法 []				
	杭径（最小～最大） 場所打杭、深礎は拡底径～拡頭径も表示 拡底径は設計径を表示	最小径 [] cm ~ 最大径 [] cm				
		最小拡頭径 [] cm ~ 最大拡頭径 [] cm				
		最小拡底径 [] cm ~ 最大拡底径 [] cm				
杭長（最小～最大）小数点以下切捨て	最小長 [] m					
	最大長 [] m					
杭の許容支持力（最小～最大）	最小 [] KN/本 最大 [] KN/本					
設定方法 (設定の根拠となった地盤調査方法、地盤改良の方法等)	■ 標準貫入試験 □ 平板載荷試験 ■ 室内土質試験 □ PS検層 □ 孔内水平載荷試験 □ 地盤改良 [] □ その他 []				□	

追加記入です

杭状改良地盤以外の箇所の許容応力度を記入する

許容支持力度、許容支持力のいずれかを記入する

深層混合処理工法、浅層混合処理工法等と記入する

2020年4月以降は「PS検層」、「孔内水平載荷試験」に■を記入しないで下さい

【構造③】に記入し、ここは空欄とする

設計評価以降に実施予定の平板載荷試験は対象外

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称： ○ 虎ノ門マンション

3. 劣化の軽減に関すること（1）（住棟評価用）

3-1 劣化対策等級（構造躯体等）

評価方法： ■ 評価方法基準による □ その他 []

(1) 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄				申請者記入 特記事項 ・備考欄	概要書・計算書 図面番号 評価関連図書	評価者記入欄																
								確認	備考															
3-1 劣化対策等級 (構造躯体等)	<input checked="" type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1	<input checked="" type="checkbox"/> ①項～⑤項の全ての項目に適合 <input type="checkbox"/> ①項～⑤項の全ての項目に適合 <input type="checkbox"/> ⑤項のみに適合						<input type="checkbox"/>																
①.セメントの種類		<input checked="" type="checkbox"/> JISR5210 ボルトランドセメント <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 中庸熱 <input type="checkbox"/> 低熱 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> JISR5213 フライアッシュセメント：混合物を除いた部分を、セメントの重量として用いる <input type="checkbox"/> JISR5211 高炉セメント：混合物の10分の3を除いた部分を、セメントの重量として用いる					設計図 S-1	<input type="checkbox"/>																
②.水セメント比と かぶり厚さ		コンクリート <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td></td> <td>普通</td> <td>軽量</td> <td>普通</td> <td>軽量</td> </tr> <tr> <td>等級3</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 50</td> <td><input type="checkbox"/> 45</td> <td><input type="checkbox"/> 55</td> <td><input type="checkbox"/> 50</td> </tr> <tr> <td>等級2</td> <td><input type="checkbox"/> 55</td> <td><input type="checkbox"/> 50</td> <td><input type="checkbox"/> 60</td> <td><input type="checkbox"/> 55</td> </tr> </table>					普通	軽量	普通	軽量	等級3	<input checked="" type="checkbox"/> 50	<input type="checkbox"/> 45	<input type="checkbox"/> 55	<input type="checkbox"/> 50	等級2	<input type="checkbox"/> 55	<input type="checkbox"/> 50	<input type="checkbox"/> 60	<input type="checkbox"/> 55		設計図 S-1	<input type="checkbox"/>	
			普通	軽量	普通	軽量																		
		等級3	<input checked="" type="checkbox"/> 50	<input type="checkbox"/> 45	<input type="checkbox"/> 55	<input type="checkbox"/> 50																		
		等級2	<input type="checkbox"/> 55	<input type="checkbox"/> 50	<input type="checkbox"/> 60	<input type="checkbox"/> 55																		
		部位 最小かぶり厚さ (cm)																						
		直接土に接しない 部分のかぶり厚さ	耐力壁以外の壁又は床	屋内	2	3																		
屋外	3 (2)			4 (3)																				
直接土に接する 部分のかぶり厚さ	耐力壁、柱、はり又は壁ばり	屋内	3	4																				
		屋外	4 (3)	5 (4)																				
壁、柱、床、はり、基礎ばり又は布基礎の立ち上り部分 基礎（布基礎の立上り部分を除く。）		4	5																					
中庸熱・低熱ボルトランドセメント		適用可	適用外																					
() 内の数値は有効な仕上のある場合 <input type="checkbox"/> 水セメント比が部位により異なる場合、部位とW/Cを明示 [] <input checked="" type="checkbox"/> 設計かぶり厚さは、最小かぶり厚さに施工誤差（原則1cm）を考慮して設定 <input checked="" type="checkbox"/> 部材の断面算定にあたり、設計かぶり厚さを考慮している。					電算P.92～112																			
③.コンクリートの品質等		<input checked="" type="checkbox"/> JIS規格コンクリート <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート強度が33N/mm ² 未満の場合 スランプが18cm以下 <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート強度が33N/mm ² 以上の場合 スランプが21cm以下 <input type="checkbox"/> スランプが21cmを超える場合は大臣認定コンクリート使用 <input checked="" type="checkbox"/> 単位水量が185Kg/m ³ 以下 <input checked="" type="checkbox"/> 空気が4%～6%（日最低気温の平滑平年値の年間極値が0℃を下回る地域） <input type="checkbox"/> コンクリート中含水率を高くしない措置その他有効な措置 [] <input type="checkbox"/> 認定コンクリート ・設計基準強度 ・単位水量 ・空気量 ・スランプあるいはスランプ70-					設計図 S-3	<input type="checkbox"/>																
		大梁については、X・Yにおける主筋の上下関係が設計図で示され、それに基づいた断面算定がなされている必要がある																						
④.施工計画		<input type="checkbox"/> 認定コンクリートにおいて、等級3、等級2の場合 <input type="checkbox"/> 適切な施工計画を定める指定 <input type="checkbox"/> 適切な品質管理計画を定める指定 <input type="checkbox"/> 不具合の確認と対処方法を定める指定						<input type="checkbox"/>																
		<input checked="" type="checkbox"/> 密実に充填するための打込み及び締め固めの方法の指定 ・使用する締め固め機器の種類と使用方法 ・JASS5とは別の指定方法 []																						
		<input checked="" type="checkbox"/> 打ち継ぎ部の処理方法の指定 ・打継ぎ部の位置 ・打継ぎ部の形状 ・コンクリートの打継ぎ面の処置 ・JASS5とは別の指定方法 []																						
		<input checked="" type="checkbox"/> 養生方法の指定 ・湿潤養生の方法 ・養生期間 ・養生温度の配慮 ・JASS5とは別の指定方法 []					設計図 S-3		JASS5に準拠する場合には、対応する節番号を図面に記載する															

コンクリート強度は JASS5(2009)のFm

有効な仕上のある場合とは、「外壁の屋外に面する部位に、タイル張り、モルタル塗り、外断熱工法による仕上、その他これらと同等以上の性能を有する処理が施される場合」である
これより、屋外のスラブ、梁の水平面には適用されない

大梁については、X・Yにおける主筋の上下関係が設計図で示され、それに基づいた断面算定がなされている必要がある

JASS5に準拠する場合には、対応する節番号を図面に記載する

3. 劣化の軽減に関すること (2) 案件略称： **○ 虎ノ門マンション**

(1) 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造 続き

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 評価関連図書	評価者記入欄	
					確認	備考
⑤.その他の構造部材等		<input checked="" type="checkbox"/> 構造躯体等が令3章耐久性等関係規定のうちの下記の規定に適合 ・構造部材（令第37条） ・コンクリートの材料（令第72条1,3号） ・コンクリートの強度（令第74条3項） ・コンクリートの養生（令第75条） ・鉄骨のかぶり厚さ（令第79条の3） <input type="checkbox"/> 特殊な工法によるものは、建設大臣が定めた技術的基準のうちの劣化規定に従う <input type="checkbox"/> 壁式鉄筋コンクリート造：平13国交告第1026号に適合 <input type="checkbox"/> プレストレストコンクリート造：昭58建告第1320号に適合 <input type="checkbox"/> 壁式ラーメン鉄筋コンクリート造：平13国交告第1025号に適合 <input type="checkbox"/> その他 []			<input type="checkbox"/>	

(2) 鉄骨造

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 評価関連図書	評価者記入欄	
					確認	備考
3-1 劣化対策等級 (構造躯体等)	<input type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1	<input type="checkbox"/> ①項～④項の全ての項目に適合、但し*の項目は除外 <input type="checkbox"/> ①項～④項の全ての項目に適合、但し**の項目は除外 <input type="checkbox"/> ④項のみに適合			<input type="checkbox"/>	
①.構造躯体		<input type="checkbox"/> 柱、梁、筋かいの防錆措置は評価方法基準 3-1(3) <input type="checkbox"/> ①a の基準に適合** <input type="checkbox"/> 柱、梁、筋かいの防錆措置は評価方法基準 3-1(3) <input type="checkbox"/> ②a の基準に適合* <input type="checkbox"/> 柱、梁、筋かい以外の部分は鉛系さび止めペイント塗り回数2以上、又は同等の防錆措置 ただし、等級3の場合は厚さ12mm（等級2の場合は厚さ9mm）以上の鋼材については、この限りでない			<input type="checkbox"/>	
②.床下		<input type="checkbox"/> 床下は評価方法基準 3-1(3) イ①f の基準に適合			<input type="checkbox"/>	
③.小屋裏		<input type="checkbox"/> 小屋裏は評価方法基準 3-1(3) イ①g の基準に適合			<input type="checkbox"/>	
④.構造部材等		<input type="checkbox"/> 構造躯体等が構造部材の耐久（令第37条）に適合 <input type="checkbox"/> 構造方法に関する補足：特殊な工法によるものは、国土交通大臣が定めた技術的基準のうちの劣化規定に従う <input type="checkbox"/> []			<input type="checkbox"/>	

3.1.4 記入例(3) 鉄筋コンクリート造 54階建て共同住宅(超高層建築物)

○建物概要

建設地 静岡県静岡市

規模等

- ・建物高さ 174.90m
- ・階数 地上 54階、地下2階、塔屋1階
- ・延べ面積 81,965.04m²
- ・住戸数 673戸

構造等

- ・鉄筋コンクリート造
- ・地上階 純ラーメン構造
- ・地下階 耐力壁付ラーメン構造
- ・基礎 杭基礎(場所打ちコンクリート拡底杭)

○構造計算の手法

- ・時刻歴応答解析

○性能表示事項

1-1 耐震等級(倒壊等)	等級 1
1-2 耐震等級(損傷)	等級 1
1-3 その他(免震構造)	その他の構造
1-4 耐風等級	等級 2
1-5 耐積雪等級	区域外
3- 1劣化対策等級	等級 3

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称：△ 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（1）（概要）（住棟評価用）

- 1-1 耐震等級（構造躯体の倒壊等防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []
- 1-2 耐震等級（構造躯体の損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []
- 1-3 その他（地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []
- 1-4 耐風等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []
- 1-5 耐積雪等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []

- 注1. 申請者は [] 部分のみを記入する。
 チェック欄：□は、該当部分のみを■とする。
 2. 申請者記入特記事項・備考欄は、建設評価に伝えるための特記欄
 3. 概要書・計算書、図面番号、関連設計図書欄は、設計評価のための注記欄で、いずれか一つの記入のみで可。
 4. 同一敷地内に複数の棟が存する場合、類似内容であれば本書類は一つとし、違いは記号等を用いて区別する。

(1) 構造設計概要

確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
				確認	備考
構造概要	規模等	・建物高さ [≒174 m] 階数：地上 [54 階] 地下 [2 階] ・延べ面積 [≒81965 m ²]	構造計算概要書 P.1	□	
	耐震、免震等	■ 耐震建築物 □ 耐震建築物以外（免震建築物等）			
	構造等	・構造種別 [鉄筋コンクリート造] ・構造形式 [Xまたは桁行方向 [純ラーメン構造] Yまたは張間方向 [純ラーメン構造]] ・基礎構造 [杭基礎]			
構造計算	構造計算の手法	■ 時刻歴応答解析 □ 保有水平耐力計算 □ 限界耐力計算 □ 告示免震計算 □ 許容応力度等計算 □ その他 [令第82条各号及び令第82条の4に定めるところによる構造計算]	構造計算概要書 P.2~4	□	
	構造計算の考え方	・構造計算に際し採用したモデル化、解析手法、ルート判定等に関する、設計者の考え方			
材料仕様 (最大のもの)	コンクリート	・強度 [Fc70]	設計図 S-1	□	
	鉄筋	・主筋材質 [SD490] 主筋径 [D41]			
	鉄骨	・鉄骨材質 [] ボルト材質 []			
	その他	[高強度せん断補強筋 KSS785]			

≒を付けて数値を丸めてよい

(2) 適用対象の確認

確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
				確認	備考
高さ等	□ 31m以下 □ 31m超~45m以下 □ 45m超~60m以下 ■ 60m超 □ 建築基準法第20条第三号イ（ルート1）		構造計算概要書 P.1	□	
構造認定等 注）構造②のシートについて ・右の項のいずれかに該当する場合には、 構造②-A を使用し、認定書や確認済 証等を添付する ・右の項のいずれにも該当しない場合 保有耐力許容応力度計算の場合：構造②-B1~B3 限界耐力計算の場合：構造②-C1~C3 告示免震計算の場合：構造②-D1~D5 を使用する。	■ 建築基準法第20条第一号（超高層建築物の構造方法） ■ 認定書 ■ 性能評価書 □ 評価報告書 □ 建築基準法第20条第二号口、同第三号口、同第四号口（特殊の構造方法） □ 認定書 □ 性能評価書 □ 評価報告書 □ [] □ 評定書 □ 評価報告書 ■ 品確法第58条（耐震等級、耐風等級、耐積雪等級に関する特別評価方法認定） ■ 特別評価方法認定書 ■ 試験結果証明書 ■ 建築基準法に基づく、耐震等級1の場合又は告示免震計算による場合 ■ 確認済証			□	
材料認定等 該当する認定書などを添付する	■ 建築基準法第37条第2号（建築材料認定） ■ コンクリート ■ 認定書 ■ 性能評価書 □ 評価報告書 ■ その他 [高強度せん断補強筋 KSS785] ■ 認定書 □ 性能評価書 □ 評価報告書			□	

時刻歴応答解析、免震等の高度な計算の場合、耐震等級、耐風等級、耐積雪等級のいずれかが2以上の場合は、品確法上の特別評価方法認定が必要となる

構造②-Aのみに記入し、構造③へ進む

設計内容説明書（兼自己評価書）

案件略称：△ 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（2）（建築確認済みで等級1などの場合）

（3）等級の確認（建築確認済みで等級1などの場合）

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄		申請者記入 特記事項 ・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
						確認	備考
1-1 耐震等級 (構造躯体の倒壊等防止) <input type="checkbox"/> 評価対象外（免震建築物）	<input type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input checked="" type="checkbox"/> 等級1	適用倍率	<input type="checkbox"/> 倍率 1.5 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.25 以上 <input checked="" type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上		構造計算書	<input type="checkbox"/>	
1-2 耐震等級 (構造躯体の損傷防止) <input type="checkbox"/> 評価対象外（免震建築物）	<input type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input checked="" type="checkbox"/> 等級1	適用倍率	<input type="checkbox"/> 倍率 1.5 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.25 以上 <input checked="" type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上		構造計算書	<input type="checkbox"/>	
1-3 その他 (地震に対する構造躯体の倒壊等防止 及び損傷防止)	<input type="checkbox"/> 免震建築物 <input checked="" type="checkbox"/> その他	免震建築物の場合 の告示	<input type="checkbox"/> 平成12年建設省告示第2009号第1第3号 <input type="checkbox"/> 一（四号建築物） <input type="checkbox"/> 二（建基法20条第二号又は三号に掲げる建築物） <input type="checkbox"/> 三（時刻歴応答解析を行い大臣認定取得） <input type="checkbox"/> その他[<input type="checkbox"/>	
		維持管理	<input type="checkbox"/> 維持管理計画 <input type="checkbox"/> 敷地管理計画				
1-4 耐風等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	<input checked="" type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1	適用倍率	<input checked="" type="checkbox"/> 倍率 1.2 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上		特別評価方法大臣認定書	<input type="checkbox"/>	
1-5 耐積雪等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	<input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1 <input checked="" type="checkbox"/> 区域外	適用倍率	<input type="checkbox"/> 倍率 1.2 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上 <input checked="" type="checkbox"/> 多雪区域外			<input type="checkbox"/>	

時刻歴応答解析、免震等の高度な計算の場合、耐震等級、耐風等級、耐積雪等級のいずれかが2以上の場合は、品確法上の特別評価方法認定が必要となる

多雪区域のみに適用

注）「1-2耐震等級」「1-4耐風等級」「1-5耐積雪等級」の評価項目を選択しない場合は、申請者記入特記事項欄に「選択無し」と記入願います。

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称：△ 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（3）（地盤・基礎）

1-6 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []

1-7 基礎の構造方法及び形式等 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []

(6)(7) 基礎の構造方法及び形式等 / 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法

性能表示事項		設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入 特記事項 備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
					確認	備考
直接基礎	構造方法	<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他 []			<input type="checkbox"/>	
	形式	<input type="checkbox"/> 独立基礎				
		<input type="checkbox"/> 布基礎				
		<input type="checkbox"/> ベタ基礎 <input type="checkbox"/> その他 []				
地盤の許容応力度		[] KN/m ²				
杭状改良地盤基礎	杭状改良地盤の許容支持力度	[] KN/m ²			<input type="checkbox"/>	
	杭状改良地盤の許容支持力	[] KN/本	支持層を記入			
	地盤改良方法	[]				
杭基礎	杭種	支持方法 [GL-40以深の砂礫層を支持層とする]			<input type="checkbox"/>	
		杭種 [支持杭(場所打ち杭)]				
		工法 [アースドリル/底底工法(HND工法)]				
	杭径（最小～最大） 場所打ち杭、深礎は拡底径～拡頭径も表示 拡底径は設計径を表示	最小径 [150] cm ~ 最大径 [250] cm				
		最小拡頭径 [] cm ~ 最大拡頭径 [] cm 最小拡底径 [260] cm ~ 最大拡底径 [410] cm				
	杭長（最小～最大）小数点以下切捨て	最小長 [43] m 最大長 [53] m				
杭の許容支持力（最小～最大）	最小 [11928] KN/本 最大 [30812] KN/本					
設定方法 (設定の根拠となった地盤調査方法、地盤改良の方法等)	<input checked="" type="checkbox"/> 標準貫入試験 <input type="checkbox"/> 平板載荷試験 <input checked="" type="checkbox"/> 室内土質試験 <input type="checkbox"/> PS検層 <input type="checkbox"/> 孔内水平載荷試験 <input type="checkbox"/> 地盤改良 [] <input type="checkbox"/> その他 [] [] []				<input type="checkbox"/>	

追加記入です

支持層を記入

1種類の場合は最小のみ記述

2020年4月以降は「PS検層」、「孔内水平載荷試験」に■を記入しないで下さい

3. 劣化の軽減に関すること (2) 案件略称： **△ 虎ノ門マンション**

(1) 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造 続き

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 評価関連図書	評価者記入欄	
					確認	備考
⑤.その他の構造部材等		<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 構造躯体等が令3章耐久性等関係規定のうちの下記の規定に適合 <ul style="list-style-type: none"> • 構造部材（令第37条） ・ コンクリートの材料（令第72条1,3号） • コンクリートの強度（令第74条3項） • コンクリートの養生（令第75条） ・ 鉄骨のかぶり厚さ（令第79条の3） <input type="checkbox"/> 特殊な工法によるものは、建設大臣が定めた技術的基準のうちの劣化規定に従う <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 壁式鉄筋コンクリート造：平13国交告第1026号に適合 <input type="checkbox"/> プレストレストコンクリート造：昭58建告第1320号に適合 <input type="checkbox"/> 壁式ラーメン鉄筋コンクリート造：平13国交告第1025号に適合 <input type="checkbox"/> その他 [] 			<input type="checkbox"/>	

(2) 鉄骨造

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 評価関連図書	評価者記入欄	
					確認	備考
3-1 劣化対策等級 (構造躯体等)	<input type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input checked="" type="checkbox"/> 等級1	<input type="checkbox"/> ①項～④項の全ての項目に適合、但し*の項目は除外 <input type="checkbox"/> ①項～④項の全ての項目に適合、但し**の項目は除外 <input checked="" type="checkbox"/> ④項のみに適合			<input type="checkbox"/>	
①.構造躯体		<input type="checkbox"/> 柱、梁、筋かいの防錆措置は評価方法基準 3-1(3) <input type="checkbox"/> ①a の基準に適合** <input type="checkbox"/> 柱、梁、筋かいの防錆措置は評価方法基準 3-1(3) <input type="checkbox"/> ②a の基準に適合* <input type="checkbox"/> 柱、梁、筋かい以外の部分は鉛系さび止めペイント塗り回数2以上、又は同等の防錆措置 ただし、等級3の場合は厚さ12mm（等級2の場合は厚さ9mm）以上の鋼材については、この限りでない			<input type="checkbox"/>	
②.床下		<input type="checkbox"/> 床下は評価方法基準 3-1(3)イ①f の基準に適合			<input type="checkbox"/>	
③.小屋裏		<input type="checkbox"/> 小屋裏は評価方法基準 3-1(3)イ①g の基準に適合			<input type="checkbox"/>	
④.構造部材等		<input type="checkbox"/> 構造躯体等が構造部材の耐久（令第37条）に適合 <input type="checkbox"/> 構造方法に関する補足：特殊な工法によるものは、国土交通大臣が定めた技術的基準のうちの劣化規定に従う <input type="checkbox"/> []			<input type="checkbox"/>	

3.1.5 記入例(4) 鉄筋コンクリート造 14階建て共同住宅(免震建築物)

○建物概要

建設地 愛知県名古屋市

規模等

- ・建物高さ 41.29m
- ・階数 地上14階、地下1階、塔屋1階
- ・延べ面積 6,140m²
- ・住戸数 69戸

構造等

- ・鉄筋コンクリート造
- ・X方向 ラーメン構造
- ・Y方向 耐力壁付ラーメン構造
- ・基礎 杭基礎(場所打ちコンクリート杭)

○構造計算の手法

- ・告示免震計算

○性能表示事項

1-1 耐震等級(倒壊等)	対象外
1-2 耐震等級(損傷)	対象外
1-3 その他(免震構造)	免震建築物
1-4 耐風等級	等級 2
1-5 耐積雪等級	区域外
3-1 劣化対策等級	等級 3

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称：☆ 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（1）（概要）（住棟評価用）

- 1-1 耐震等級（構造躯体の倒壊等防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []
- 1-2 耐震等級（構造躯体の損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []
- 1-3 その他（地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []
- 1-4 耐風等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []
- 1-5 耐積雪等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止） 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []

- 注1. 申請者は [] 部分のみを記入する。
 チェック欄：□は、該当部分のみを■とする。
 2. 申請者記入特記事項・備考欄は、建設評価に伝えるための特記欄
 3. 概要書・計算書、図面番号、関連設計図書欄は、設計評価のための注記欄で、いずれか一つの記入のみで可。
 4. 同一敷地内に複数の棟が存する場合、類似内容であれば本書類は一つとし、違いは記号等を用いて区別する。

(1) 構造設計概要

確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
				確認	備考
構造概要	規模等	・建物高さ [≒41 m] 階数：地上 [14 階] 地下 [1 階] ・延べ面積 [≒6140 m ²]	構造計算概要書 P.1	□	
	耐震、免震等	<input type="checkbox"/> 耐震建築物 <input checked="" type="checkbox"/> 耐震建築物以外（免震建築物等）			
	構造等	・構造種別 [鉄筋コンクリート造]			
		・構造形式 Xまたは桁行方向 [純ラーメン構造] Yまたは張間方向 [純ラーメン構造]			
構造計算	・基礎構造 [杭基礎]	構造計算概要書 P.2~4	□		
構造計算の手法	<input type="checkbox"/> 時刻歴応答解析 <input type="checkbox"/> 保有水平耐力計算 <input type="checkbox"/> 限界耐力計算 <input checked="" type="checkbox"/> 告示免震計算 <input type="checkbox"/> 許容応力度等計算 <input type="checkbox"/> その他 [令第82条各号及び令第82条の4に定めるところによる構造計算]				
材料仕様 (最大のもの)	コンクリート	・強度 [Fc42]	設計図 S-1	□	
	鉄筋	・主筋材質 [SD390] 主筋径 [D38]			
	鉄骨	・鉄骨材質 [] ボルト材質 []			
	その他	[高強度せん断補強筋 KSS785]			

△を付けて数値を丸めてよい

(2) 適用対象の確認

確認事項	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
				確認	備考
高さ等	<input type="checkbox"/> 31m以下 <input checked="" type="checkbox"/> 31m超~45m以下 <input type="checkbox"/> 45m超~60m以下 <input type="checkbox"/> 60m超 <input type="checkbox"/> 建築基準法第20条第三号イ（ルート1）			□	
構造認定等 注) 構造②のシートについて ・右の項のいずれかに該当する場合には、 構造②-A を使用し、認定書や確認済 証等を添付する ・右の項のいずれにも該当しない場合 保有耐力許容応力度計算の場合：構造②-B1~B3 限界耐力計算の場合：構造②-C1~C3 告示免震計算の場合：構造②-D1~D5 を使用する。	<input type="checkbox"/> 建築基準法第20条第一号（超高層建築物の構造方法） <input type="checkbox"/> 認定書 <input type="checkbox"/> 性能評価書 <input type="checkbox"/> 評価報告書 <input type="checkbox"/> 建築基準法第20条第二号ロ、同第三号ロ、同第四号ロ <input type="checkbox"/> 認定書 <input type="checkbox"/> 性能評価書 <input type="checkbox"/> 評価報告書 <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> 評定書 <input type="checkbox"/> 評価報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 品確法第58条（耐震等級、耐風等級、耐積雪等級に関する特別評価方法認定） <input checked="" type="checkbox"/> 特別評価方法認定書 <input checked="" type="checkbox"/> 試験結果証明書 <input checked="" type="checkbox"/> 建築基準法に基づく、耐震等級1の場合又は告示免震計算による場合 <input checked="" type="checkbox"/> 確認済証			□	
材料認定等 該当する認定書などを添付する	<input checked="" type="checkbox"/> 建築基準法第37条第2号（建築材料認定） <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート <input checked="" type="checkbox"/> 認定書 <input checked="" type="checkbox"/> 性能評価書 <input type="checkbox"/> 評価報告書 <input checked="" type="checkbox"/> その他 [高強度せん断補強筋 KSS785] <input checked="" type="checkbox"/> 認定書 <input checked="" type="checkbox"/> 性能評価書 <input type="checkbox"/> 評価報告書			□	

時刻歴応答解析、免震等の高度な計算の場合、耐震等級、耐風等級、耐積雪等級のいずれかが2以上の場合は、品確法上の特別評価方法認定

左欄の注)により構造②-A、②-D5に記入し、構造③へ進む

設計内容説明書（兼自己評価書）

案件略称：☆ 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（2）（建築確認済みで等級1などの場合）

（3）等級の確認（建築確認済みで等級1などの場合）

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄		申請者記入 特記事項 ・備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
						確認	備考
1-1 耐震等級 (構造躯体の倒壊等防止) ■ 評価対象外（免震建築物）	<input type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1	適用倍率	<input type="checkbox"/> 倍率 1.5 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.25 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red;"> 免震建築物であっても、1-3の表示を「その他」とした上で、特別評価方法認定により、1-1及び1-2耐震等級の評価を行うことは可能 </div>	大臣認定書 性能評価書	<input type="checkbox"/>	
1-2 耐震等級 (構造躯体の損傷防止) ■ 評価対象外（免震建築物）	<input type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1	適用倍率	<input type="checkbox"/> 倍率 1.5 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.25 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上			<input type="checkbox"/>	
1-3 その他 (地震に対する構造躯体の倒壊等防止 及び損傷防止)	■ 免震建築物 <input type="checkbox"/> その他	免震建築物の場合 の告示	■ 平成12年建設省告示第2009号第1第3号 <input type="checkbox"/> 一（四号建築物） <input type="checkbox"/> 二（建基法20条第二号又は三号に掲げる建築物） ■ 三（時刻暦応答解析を行い大臣認定取得） <input type="checkbox"/> その他[]			大臣認定書 性能評価書	<input type="checkbox"/>
		維持管理	■ 維持管理計画 ■ 敷地管理計画	性能評価書 設計図 S-35	<input type="checkbox"/>		
1-4 耐風等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	■ 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1	適用倍率	<input type="checkbox"/> 倍率 1.2 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red;"> 免震建築物の場合、耐風等級、耐積雪等級のいずれかが2以上の場合は、品確法上の特別評価方法認定が必要となる </div>	特別評価方法大臣認定書	<input type="checkbox"/>	
1-5 耐積雪等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	<input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1 ■ 区域外	適用倍率	<input type="checkbox"/> 倍率 1.2 以上 <input type="checkbox"/> 倍率 1.0 以上 ■ 多雪区域外	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red;"> 多雪区域のみに適用 </div>		<input type="checkbox"/>	

注) 「1-2耐震等級」「1-4耐風等級」「1-5耐積雪等級」の評価項目を選択しない場合は、申請者記入特記事項欄に「選択無し」と記入願います。

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称： ☆ 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（2）（免震建築物）

* 建築確認済の場合でも構造②-D5は記入要

(3) 維持管理等に関する事項の評価（告示免震計算）

性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄兼チェック欄	申請者記入 特記事項 備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
					確認	備考
維持管理に関する計画	免震材料等点検計画	■ 定期点検、定期点検、臨時点検および詳細点検として以下の項目が記載されている		5.4維持管理概要	<input type="checkbox"/>	
	時期または頻度 項目	■ 点検時期が各部位ごとに設定されている ■ 下記の項目が記載されている ■ 免震材料 [積層ゴム] [オイルダンパー] [] [] □ 耐火被覆 ■ 配管設備 ■ 電気配線 ■ 避雷針 □ アース □		5.4.3点検項目、調査方法、管理値表	<input type="checkbox"/>	
	方法	■ 目視または計測方法が記載されている []		同上	<input type="checkbox"/>	
	箇所	■ 点検箇所数が記載されている []		同上	<input type="checkbox"/>	
	管理値	■ 管理値が記載されている []		同上	<input type="checkbox"/>	
	管理体制計画	■ 維持管理体制の詳細を定めている 「免震建物点検技術者」の立場と役割が明記されている。		5.4維持管理概要	<input type="checkbox"/>	
敷地の管理に関する計画	建築物周囲の点検計画	■ 定期点検、臨時点検および詳細点検として以下の項目が記載されている		5.4維持管理概要	<input type="checkbox"/>	
	時期または頻度 項目	■ 点検時期が各部位ごとに設定されている ■ 下記の項目が記載されている ■ クリアランス [] ■ 建物位置標識 [] ■ 建物位置 [] □ 不同沈下 [] ■ 可燃物 [] □ 排水状況 [] □		5.4.3点検項目、調査方法、管理値表	<input type="checkbox"/>	
	方法	■ 目視または計測方法が記載されている []		同上	<input type="checkbox"/>	
	箇所	■ 点検箇所数が記載されている []		同上	<input type="checkbox"/>	
	管理値	■ 管理値が記載されている []		同上	<input type="checkbox"/>	
	管理体制計画	■ 維持管理体制の詳細を定めている 「免震建物点検技術者」の立場と役割が明記されている。		5.4維持管理概要	<input type="checkbox"/>	

設計内容説明書（兼 自己評価書）

案件略称：☆ 虎ノ門マンション

1. 構造の安定に関すること（3）（地盤・基礎）

1-6 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []

1-7 基礎の構造方法及び形式等 評価方法：■ 評価方法基準による □ その他 []

(6) (7) 基礎の構造方法及び形式等 / 地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法

性能表示事項		設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入 特記事項 備考欄	概要書・計算書 図面番号 関連設計図書	評価者記入欄	
					確認	備考
直接基礎	構造方法	<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他 []			<input type="checkbox"/>	
	形式	<input type="checkbox"/> 独立基礎				
		<input type="checkbox"/> 布基礎				
		<input type="checkbox"/> ベタ基礎 <input type="checkbox"/> その他 []				
地盤の許容応力度		[] KN/m ²				
杭状改良地盤基礎	杭状改良地盤の許容支持力度	[] KN/m ²			<input type="checkbox"/>	
	杭状改良地盤の許容支持力	[] KN/本				
	地盤改良方法	[]				
杭基礎	杭種	支持方法 [GL-40以深の砂礫層を支持層とする] 支持層を記入			<input type="checkbox"/>	
		杭種 [支持杭(場所打ち杭)]				
		工法 [アースドリル底底工法(HND工法)]				
	杭径（最小～最大） 場所打ち杭、深礎は拡底径～拡頭径も表示 拡底径は設計径を表示	最小径 [150] cm ~ 最大径 [250] cm				
		最小拡頭径 [] cm ~ 最大拡頭径 [] cm 最小拡底径 [260] cm ~ 最大拡底径 [410] cm				
	杭長（最小～最大）小数点以下切捨て	最小長 [43] m 最大長 [53] m				
杭の許容支持力（最小～最大）	最小 [11928] KN/本 最大 [30812] KN/本					
設定方法 (設定の根拠となった地盤調査方法、地盤改良の方法等)	<input checked="" type="checkbox"/> 標準貫入試験 <input type="checkbox"/> 平板載荷試験 <input checked="" type="checkbox"/> 室内土質試験 <input type="checkbox"/> PS検層 <input type="checkbox"/> 孔内水平載荷試験 <input type="checkbox"/> 地盤改良 [] <input type="checkbox"/> その他 [] [] []				<input type="checkbox"/>	

追加記入です

支持層を記入

1種類の場
合は最小
のみ記入

2020年4月以降は「PS検層」、「孔内水平載荷試験」に■を記入しないで下さい

設計内容説明書 (兼 自己評価書)

案件略称: ☆ 虎ノ門マンション

3. 劣化の軽減に関すること (1) (住棟評価用)

3-1 劣化対策等級 (構造躯体等)

評価方法: ■ 評価方法基準による □ その他 []

(1) 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 評価関連図書	評価者記入欄		
					確認	備考	
3-1 劣化対策等級 (構造躯体等)	■ 等級3 □ 等級2 □ 等級1	■ ①項~⑤項の全ての項目に適合 □ ①項~⑤項の全ての項目に適合 □ ⑥項のみに適合			<input type="checkbox"/>		
①.セメントの種類		■ JISR5210 ボルトランドセメント ■ 普通 ■ 中庸熱 ■ 低熱 □ その他 □ JISR5213 フライアッシュセメント: 混合物を除いた部分を、セメントの重量として用いる □ JISR5211 高炉セメント: 混合物の10分の3を除いた部分を、セメントの重量として用いる		設計図 S-1	<input type="checkbox"/>		
②.水セメント比と かぶり厚さ		コンクリート		普通 軽量 普通 軽量	設計図 S-1	<input type="checkbox"/>	
		水セメント比 W/C(%)	等級3	■ 50 □ 45 □ 55 □ 50			
			等級2	□ 55 □ 50 □ 60 □ 55			
		部位		最小かぶり厚さ (cm)			
直接土に接しない 部分のかぶり厚さ	耐力壁以外の壁又は床	屋内	2	3	設計図 S-1	<input type="checkbox"/>	
		屋外	3 (2)	4 (3)			
直接土に接する 部分のかぶり厚さ	耐力壁、柱、はり又は壁ばり	屋内	3	4	設計図 S-1	<input type="checkbox"/>	
		屋外	4 (3)	5 (4)			
		壁、柱、床、はり、基礎ばり又は布基礎の立ち上り部分 基礎 (布基礎の立ち上り部分を除く。)	4	5			
		中庸熱・低熱ボルトランドセメント	適用可	適用外			
		() 内の数値は有効な仕上のある場合					
		□ 水セメント比が部位により異なる場合、部位とW/Cを明示 []					
		■ 設計かぶり厚さは、最小かぶり厚さに施工誤差 (原則 1 cm) を考慮して設定					
		■ 部材の断面算定にあたり、設計かぶり厚さを考慮している。					
③.コンクリートの品質等		■ JIS規格コンクリート		設計図 S-1	<input type="checkbox"/>		
		■ コンクリート強度が33N/mm ² 未満の場合 スランプが18cm以下				高強度コンクリートの場合、認定書、性能評価書を業者決定後、速やかに提出する	
		■ コンクリート強度が33N/mm ² 以上の場合 スランプが21cm以下					
		■ スランプが21cmを超える場合は大臣認定コンクリート使用					
		■ 単位水量が185Kg/m ³ 以下					
		□ 空気が4%~6% (日最低気温の平滑平年値の年間極値が0℃を下回る地域)					
		□ コア中水率を高くしない措置その他の有効な措置 []					
		■ 認定コンクリート	・設計基準強度	・単位水量	・空気が	・スラップ	あるいはスラップ 70-
			・材料分離抵抗の試験方法、試験時期	・回数等を定める規定			
④.施工計画		■ 認定コンクリートにおいて、等級3、等級2の場合		高強度コンクリート施工計画書	<input type="checkbox"/>		
		■ 適切な施工計画を定める指定					
		■ 適切な品質管理計画を定める指定					
		■ 不具合の確認と対処方法を定める指定					
		■ 密実に充填するための打込み及び締め固めの方法の指定				高強度コンクリートの場合、施工計画書を業者決定後、施工前に提出する	
		・使用する締め固め機器の種類と使用方法					
		・JASS5とは別の指定方法 []					
		■ 打ち継ぎ部の処理方法の指定				設計図 S-3	
		・打継ぎ部の位置	・打継ぎ部の形状	・コンクリートの打継ぎ面の処置			
		・JASS5とは別の指定方法 []					
		■ 養生方法の指定				JASS5に準拠する場合には、対応する節番号を図面に記載する	
		・湿润養生の方法	・養生期間	・養生温度の配慮			
		・JASS5とは別の指定方法 []					

コンクリート強度は JASS5(2009)のFm

高強度コンクリートの場合、認定書、性能評価書を業者決定後、速やかに提出する

高強度コンクリートの場合、施工計画書を業者決定後、施工前に提出する

JASS5に準拠する場合には、対応する節番号を図面に記載する

3. 劣化の軽減に関すること (2)

案件略称: ☆ 虎ノ門マンション

【構造④-2】

(1) 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造 続き

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 評価関連図書	評価者記入欄	
					確認	備考
⑤.その他の構造部材等		<ul style="list-style-type: none"> ■ 構造躯体等が令3章耐久性等関係規定のうちの下記の規定に適合 <ul style="list-style-type: none"> ・構造部材（令第37条） ・コンクリートの材料（令第72条1,3号） ・コンクリートの強度（令第74条3項） ・コンクリートの養生（令第75条） ・鉄骨のかぶり厚さ（令第79条の3） □ 特殊な工法によるものは、建設大臣が定めた技術的基準のうちの劣化規定に従う <ul style="list-style-type: none"> □ 壁式鉄筋コンクリート造：平13国交告第1026号に適合 □ プレストレストコンクリート造：昭58建告第1320号に適合 □ 壁式ラーメン鉄筋コンクリート造：平13国交告第1025号に適合 □ その他 [] 			<input type="checkbox"/>	

(2) 鉄骨造

性能表示事項	自己評価等級	設計内容説明欄 兼チェック欄	申請者記入特記事項・備考欄	概要書・計算書 図面番号 評価関連図書	評価者記入欄	
					確認	備考
3-1 劣化対策等級 (構造躯体等)	<input type="checkbox"/> 等級3 <input type="checkbox"/> 等級2 <input type="checkbox"/> 等級1	<input type="checkbox"/> ①項～④項の全ての項目に適合、但し*の項目は除外 <input type="checkbox"/> ①項～④項の全ての項目に適合、但し**の項目は除外 <input type="checkbox"/> ④項のみに適合			<input type="checkbox"/>	
①.構造躯体		<input type="checkbox"/> 柱、梁、筋かいの防錆措置は評価方法基準 3-1(3)□①a の基準に適合** <input type="checkbox"/> 柱、梁、筋かいの防錆措置は評価方法基準 3-1(3)□②a の基準に適合* <input type="checkbox"/> 柱、梁、筋かい以外の部分は鉛系さび止めペイント塗り回数2以上、又は同等の防錆措置 ただし、等級3の場合は厚さ12mm（等級2の場合は厚さ9mm）以上の鋼材については、この限りでない			<input type="checkbox"/>	
②.床下		<input type="checkbox"/> 床下は評価方法基準 3-1(3)イ①f の基準に適合			<input type="checkbox"/>	
③.小屋裏		<input type="checkbox"/> 小屋裏は評価方法基準 3-1(3)イ①g の基準に適合			<input type="checkbox"/>	
④.構造部材等		<input type="checkbox"/> 構造躯体等が構造部材の耐久（令第37条）に適合 <input type="checkbox"/> 構造方法に関する補足：特殊な工法によるものは、国土交通大臣が定めた技術的基準のうちの劣化規定に従う <input type="checkbox"/> []			<input type="checkbox"/>	